

下妻市定例教育委員会（令和５年１１月２２日）会議録

１．開催日時	令和５年１１月２２日（水） 午後３時００分 開会 午後４時００分 閉会
２．開催場所	下妻市役所本庁舎 ３階 会議室３－１
３．出席委員	教 育 長            中山 均 教育長職務代理者   齊藤 修一 委 員                青木 明美 委 員                赤荻 由美 委 員                山口 政志
４．委員以外 の出席者	教育部長            横瀬 哲彦 教育部参事          圓崎 佳江 学校教育課長        國府田 聡 生涯学習課長        佐久間 秀樹 図書館兼公民館長   吉 川 淳 学校教育課長補佐   板橋 孝子 学校教育課係長      高崎 みゆき
５．議事録署名人	赤荻 由美委員
６．協議事項 及び研修	（１）下妻市立学校給食協議会委員の委嘱について
７．議事の概要	
教育長	定例教育委員会を始めたいと思います。議事録署名人の選出ですが、今回は赤荻委員さんをお願いいたします。  お願いします。  それでは、諸般の報告を指導課から、お願いします。  【指導課から報告】 ・第４回市議会定例会の一般質問について ・不登校児の保護者支援の現状と今後の政策について ・中学校の制服について
赤荻委員	
教育長	
教育部参事	

教育長	学校教育課お願いします。
学校教育課長	<b>【学校教育課から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回市議会定例会の一般質問について</li> <li>・学校給食費の無償化に関する質問について</li> <li>・小学校の周年記念について (騰波ノ江小学校、下妻小学校、上妻小学校)</li> <li>・下妻市立学校給食運営協議会について</li> </ul>
教育長	続きまして、生涯学習課からお願いします。
生涯学習課長	<b>【生涯学習課から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年下妻市はたちのつどい YELL について</li> </ul>
教育長	公民館図書館からお願いします。
図書館兼公民館長	<b>【公民館・図書館から報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千代川公民館の空調設備改修工事について</li> <li>・図書館の本のリサイクルフェアについて</li> <li>・図書館のお楽しみおはなし会&amp;工作遊びのイベントについて</li> </ul>
教育長	では、報告第13号下妻市立学校給食運営協議会委員の委嘱についてです。事務局からお願いします。
学校教育課長	<b>【資料により説明】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下妻市立学校給食運営協議会の委員の委嘱について</li> </ul>
教育長	質問等がございましたらお願いします。 よろしいでしょうか。
委員	<b>【承認】</b>
教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、委員の皆様から、ご質問等やご意見ありましたらお願いします。</p> <p>山口委員さんからお願いします。</p>

山口委員	給食の無償化の話を市民の方からよく聞きます。給食費を本当に払えない方は援助の制度があり補助されてると思うのですが、そこを市民の方は、知らない人もいるのではと思いますが。
学校教育課長	是非そういうことは、皆さんに知っていただきたいという思いもありますので、議会で一般質問をいただくたびに、話はさせていただいております。経済的に生活保護を受けてるような家庭であればその制度の中で保障されますし、困窮度合が、そこまでにいかずとも厳しい状況にある方については準要保護ということで、給食費が補助されております。そういった状況ですが、議員さんの思いの中には全員無償になるとより一層という思いや、今、子育て世帯の支援というのは着目されているので、そういった思いもあつて質問いただくのかなとは思いますが。保護者の方には、制度の周知などもしていますし、そういった方は申請していただいているのかなと思っております。また、もし市民の方に聞かれたときなどは、委員さんの方からも制度はありますよとお伝えいただけるありがたいと思います。よろしくお願いいたします。
山口委員	ありがとうございます。
教育長	市の方は、給食費用に全く補助をしてないかということ、そういうことはなくて、給食費全体の2割は補助をしています。全額を市の方で負担するということは、財政上難しいのですが、本市では、現在センター方式と自校方式での給食費の差異があるので、安い方に統一するというので、今回、取り組んでいるところです。国でも一時は無償化の方向を打ち出していたのですが、現在、動向は見えません。
齊藤委員	関連していいですか。今度、下妻市に工業団地ができてきて、今後の下妻市の10年、15年先を見たときに、歳入が増えるとか、そのような状況まで考えたときには無償化の方向には進んでいくような流れなんでしょうか。
学校教育課長	財政的な話をしますと、一般会計予算の1、2%を使えば無償化できるでしょうという話をいただくんですが、実は非常にその1%というのは約110,000,000円ぐらいになります。とても大きな額で、

	<p>そこに注力するということであれば、その額を捻出するために、場合によっては、学校にかけの経費のどこかを削る必要も出てきたりとか、そういった可能性もあるかと思います。本来、法律の規定では、給食費は保護者負担というのが原則で決まってる中で、国での方向性が変わって、その費用が出てくるようであれば非常に有難いのですが。大きく飛躍的にその税収が伸びるか。多少伸びるのは期待できると思うんですが、いくら伸びるかというのは、そこまでは予測は難しいかなと思います。</p>
齊藤委員	<p>そういう中で、値下げをする、中学校 50 円、小学校 150 円、これは今、物価が上がってる中で、どうしてなのかという感じはしますけども。</p>
学校教育課長	<p>以前からの課題ですが、同じ給食を食べてる小中学生が市内で給食費が違うというのが非常に大きな課題で、統一をしたいということで考えてはいたんですが、下げるという前提では考えておりませんで、ずっとどうやって合わせるか、値上げして合わせるということを模索していました。ただ、今、物価高騰もあり、給食費を上げるということは難しい状況が続いてきました。また、ここにきて子育て支援の重要性、給食無償化などの自治体が、県内でもいくつか出てきて、全国的にも恒久的にやっているところはまだそんなに多くはないと思うんですけど、臨時的にやったりするところもでてきました。ということで、子育て世帯に対して何かしら支援ができるような制度が必要かなという状況の中で、今、下妻市全体として、なるべく子育て世帯が移住したくなるような街を作っていきたいというところもありますので、そういうところで、今までの値上げをして統一しようという考えから、いずれにしても統一が必要なので、値下げをして市の負担が多少、増えたとしても取り組んでいくという方向に変わりましたので、今回、このように進めております。以上です。</p>
齊藤委員	<p>わかりました。</p>
教育長	<p>給食の提供方式は、センター方式と自校方式の並列でやっております。先ほど説明がありました検討委員会を立ち上げましたので、その会議の中でどういう方向性が出るかというのが、これからの会議の内容になってきます。常総市の委託契約もありますので、常総市</p>

赤荻委員	<p>さんとの動向を見ながら、本市の方向性を決めていくということになります。</p> <p>続きまして、赤荻委員さん、お願いします。</p> <p>先ほどの給食の話で、実際、保護者の方も、意見は2つに分かれるかなと思います。給食費は無償にならないのかということをいうかたもいます。また、反対に、自分の子供の食事代をなぜ払わないのかという方、本来であれば自分のお子さんに自分の家庭で食事を提供するべきところを、学校が提供してくれている、すごくそれでも安い方だとおっしゃられてる方もいます。今回の値下げについても、値下げしました、努力してますというところは、伝えていった方がいいかなと思います。また、未納がある人には、未納の相談も丁寧に交渉されているところがあると思います。公平に負担してもらうという観点でも、未納の回収にも努力されてるということなども、わかっておいてほしいかなと思います。</p> <p>もう1つは、12月になると先生方も忙しくなってくると思うのですが、コンプライアンスの徹底も注意喚起いただければと思います。交通事故とか違反とかも含めて気をつけていただきたいなと思います。選挙もごさいます。先月、禁止事項の通知などもいただきましたので、そういったことも含めて気を引き締めたいと思います。そのところお願いしたいと思いました。以上です。</p>
学校教育課長	<p>給食費の未納相談の件ですが、基本的には学校で引き落としの手続きをしてもらっていますが、長く支払わないという方については、児童手当等の支給がされるときに、学校教育課で納付の相談を行って、納付をお願いするという事でやっています。</p>
教育長	<p>青木委員さん、お願いします。</p>
青木委員	<p>以前、玉給食センターでの視察や給食の試食をしたときに、やはり未納相談の話を聞きました。給食は、さまざまな業務があつて大変なんだなということを感じています。</p> <p>また、市民の方からは、統廃合の話がよく聞かれます。皆さんの関心事ですね。また、制服のことでは、女子のスラックスことなど、中学校の制服は、いろいろ歴史があつて、さまざまな検討がされているのだと思いました。これから寒くなりますが、子供たちが元気に学校行けるといいなと思います。以上です。</p>

教育長	ありがとうございます。インフルエンザの状況はどうですか。
教育部参事	先週末で一旦おさまった感じがあったのですが、おとといまた、新たに1学級の学級閉鎖が出ている状況です。
教育長	では、齊藤委員さん、お願いします。
齊藤委員	はたちのつどいについてですが、今までは出身中学校別にやっていましたが、今度は一斉に行ったことで、何か特に配慮するようなこととか、苦勞しているところありますか。
生涯学習課長	元々は全体でやっていましたので、また元々の形に戻るということです。ただ会場のことになると、少し心配のところがないかといえば、それはやはり。
齊藤委員	千代川公民館のホールは、下のフロアに椅子を並べたり、上の固定式の椅子も使うんでしょうけど。中学校3校分けてバランス良くという形で、実際には会場を作られる訳ですね。
生涯学習課長	会場はある程度、ランダムにと考えています。学校によって参加率もまちまちなので。前回は61.38%の参加率でした。また、3中学校以外の中学校の方もおります。今回は65%の参加率で対応可能なように座席を用意する予定でございます。
齊藤委員	色々と検討することはあると思いますが、よろしくお願いします。
教育長	それでは、その他で事務局から。
学校教育課長	<p>【事務局から報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の定例会について</li> <li>・ 大形小学校の遠隔教育実証研究の公開授業の訪問について</li> </ul>
教育長	では、以上で、定例の教育委員会を終了といたします。